

「おはしも」守って

盛岡二高と 白梅幼稚園 今年も合同避難訓練



盛岡市上ノ橋町の盛岡二高(菅原尚志校長、生徒596人)と隣接する白梅幼稚園(大橋)の枠を超えて協力し災

害に備えようと前年度から始め、今年で2回目。年少から年長まで園児38人と希望の生徒

盛岡二高生に手を引かれながら避難する白梅幼稚園の園児たち

54人が参加し、自分の身を守りながら、互いに助け合う姿勢を学んだ。訓練は園舎で火災が発生したとの想定。生徒たちは、第1次避難場所の園庭に出て来た園児の手を引き、高校の第一体育館下のピロティーまで誘導した。

無事、ピロティーに着いた園児たちは「ありがとうございました」と声をそろえてあいさつ。避難時の約束「お(押さな

い)は(走らない)し(しゃべらない)も(戻らない)」「を一緒に確認した。

阿部立夏ちゃん(6)は「楽しかった。(お姉さんたちは)優しい。

『おはしも』を頑張る」と笑顔。伊藤夢衣生徒会長(2年)は「実際に動いてみると、走ってしまったり、おしゃべりをしたり、難しいところもあった。自分の身を守るだけでなく

小さい子どもやお年寄りなど身の周りにも目を向けられるようになりたい」と気を引き締めた。

盛岡二高は地域防災スクールの取り組みを進めており、白梅幼稚園をはじめ、近隣の学校と普段から交流を深め、防災につなげていきたいという。

大橋園長は「隣同士、連携する素晴らしい機会。生徒たちにとっても共助を実践的に学ぶ良い機会では」と話した。

盛岡タイムス 2019年9月3日(火)付

この写真と記事は盛岡タイムス社の
許諾を得て転載しています。